

# あかね雲



2014.10.10

## CONTENTS

- ◆島根県看護協会の主な動き……P1
- ◆理事会報告……P1
- ◆より良い広報誌「あかね雲」を目指して…P1
- ◆島根県議会看護問題議員連盟へ要望書を提出…P2
- ◆支部活動、医療安全情報……P3
- ◆職能委員会活動……P4
- ◆「助産師出向システム」推進シンポジウム…P4
- ◆委員会活動……P5
- ◆災害支援ナース派遣訓練……P5
- ◆認定看護師の紹介……P6
- ◆ナースセンターだより…P7.8
- ◆ホットひといき……P9

NO.142

湧水 ゆうすい

## 「近くにあって 良かった病院」をめざして

雲南市立病院 板持さとみ

少子・高齢化のすすむこの圏域において、看護師不足は顕著でした。幸い当院では地域の皆さまの理解を頂き地域枠・奨学金等を利用し、地元愛に満ちた職員が定着しつつある現状です。

「安心して産み、育てることのできる環境」の整備として、今年4月には助産外来「ここまち」を開設。現在2名の看護師が助産師

資格取得をめざして勉強しています。そして新病院における産科外来・病棟の一体化(ユニット化)等も検討し、結果は10年、20年後になりますが今できることが未来につながることを信じて取り組んでいます。

地域の高齢化に対しては9月から地域包括ケア病棟を開設し、急性期以降の治療・療養を含めた退院後の環境調整に努め、住み慣れた地域で生活する事の意味を住民の皆様と考えるきっかけになるのではと考えています。まだ始まったばかりの取り組みですが「近くにあって良かった病院」を目指して、職員一同笑顔を忘れず取り組んでいます。



発行／公益社団法人島根県看護協会

発行責任者／春日 順子 編集／広報委員会

## 島根県看護協会の主な動き(8・9月)

項目	月 日(曜)	実施事項	出席者	場所
島根県関係	8月 5日(火)	新たな財政支援制度に係る都道府県個別ヒヤリング(第2回)	島根県医療政策課・4師会	厚生労働省
	8月28日(木)	島根県看護職員確保に係る関係者会議	春日会長	ホテル宍道湖
日本看護協会関係	8月 1日(金)	全国職能委員長会議	職能委員長他	青山ダイヤモンドホール
	8月 2日(土)	「助産師出向システム」推進シンポジウム	春日会長・徳若理事他	青山ダイヤモンドホール
	8月 6日(水)	都道府県看護協会教育担当者会議	三代・福田理事	JNAホール
	8月 7日(木)	都道府県看護協会事務担当者会議	春日会長・村上局長	JNAホール
	9月10日(水)	ナースセンター事業担当者会議・NCCS進捗報告会	小森副会長・板木就業相談主任	ダイヤモンドホール
	9月19日(金)	日本看護協会理事会	春日会長	JNAホール
協島根県関係看護	8月 9日(土)	准看護師進学支援研修会(15名)	春日会長・看護師職能I	松江赤十字病院
	9月 2日(火)	日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練	災害看護委員会・災害拠点病院	看護研修センター

## 理事会報告

### ◆第4回理事会 平成26年8月21日(木)

#### 【協議事項】

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| 1. 平成26年度職能委員会・各委員会活動報告  | 承認   |
| 2. 平成26年度支部活動報告          | 承認   |
| 3. 訪問看護師研修事業(県委託事業)      | 承認   |
| 4. 図書室整備について(図書管理ソフト導入他) | 承認   |
| 5. 県看護協会USBメモリー等取扱い規程    | 承認   |
| 6. 看護師職能上の問題についてのアンケート   | 継続審議 |

#### 【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 県看護協会の動き
3. 全国職能委員会報告
4. 都道府県担当者会議報告  
(教育・災害看護・助産師出向シンポジウム)
5. 平成26年災害支援ナース派遣調整合同訓練
6. ハラスメント防止等規程・ハラスメント委員会規程
7. その他

## より良い広報誌「あかね雲」を目指して！

平成26年2月に広報委員会では「あかね雲」内容評価のためのアンケートを実施、アンケート依頼数は100名、回答者87名で回答率87%でした。アンケートにご協力いただいた皆様には感謝申しあげます。今後も皆様に役立つ「あかね雲」をお届けできるよう広報委員一同頑張って取り組んでいきたいと思います。

☆アンケートの内容評価の概要は図表のとおり。

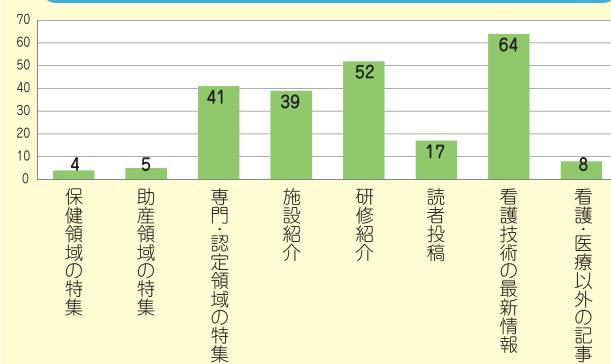
☆今後取上げて欲しい企画は

- ①看護技術の最新情報は、64名
- ②研修紹介は、52名
- ③専門・認定領域の特集は、41名でした。

☆意見・要望について下記の通りでした。

- 色々な内容がわかるのでありがたい。
- 身近な内容で読みやすく、写真もきれいに入っている。
- 毎号楽しみに読ませてもらっている。
- 表紙の絵がきれい。
- 広報委員の皆様は毎回発行までが大変だと思うが、届くのが楽しみ。

取り上げてほしい企画



## 島根県議会看護問題議員連盟へ要望書を提出

### 新たな財政支援制度の確実な活用に向けて島根県看議連へ要望書

●平成26年6月「地域における医療及び介護総合確保推進法」が可決。これを受け9月22日、島根県看護協会（春日順子会長他3名）・島根県看護連盟（松浦昌代会長他2名）は、島根県議会看護問題議員連盟総会（田中八洲男会長他22名）に対し、新たな財政支援制度の創設に伴い「新基金の確実な活用」について5つの重点要望。

●冒頭、田中八洲男会長から、看護師不足は労働環境の悪化にも繋がる。県民に安全・安心な医療・看護を保障するためにも看護師確保や労働環境改善に向けた取り組みが望まれるとあいさつ。

●原仁史島根県健康福祉部長ほか執行部から、看護師等確保対策関係予算概要や訪問看護の総合的な支援等について説明。

島根県議会看護問題議員連盟  
会長 田 中 八州男 様

### 要 望 書

超高齢社会を見据え、県民が必要な時に安心して医療・介護を受けられるように、医療・介護提供体制の早急な整備が必要です。そのためには、医療従事者、特に看護職の人材確保と有効活用を図る施策の推進が不可欠です。

本年6月、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(医療介護総合確保推進法)」が国会で成立いたしました。

同法には、効率的な医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を目指して「新たな財政支援制度(基金)」の創設や、「特定行為に係る看護師の研修制度」の創設、「医療機関における勤務環境改善システム」の導入などが盛り込まれております。

さらに地域包括ケアシステムの構築に向けて、訪問看護の基盤整備、特に訪問看護師確保対策が不可欠です。

つきましては、下記事項についてご尽力賜りますよう、強く要望いたします。

特に、新たに創設される基金については、看護に必要な事業が確実に実施されるために予算の確保が図られるよう、格別のご支援をお願いいたします。

### 記

#### I. 看護職員確保策に対し、新たな財政支援制度(基金)の確実な活用

1. 在宅領域における訪問看護等の体制強化
2. 看護職の労働条件・職場環境の改善
3. 看護職員確保対策の推進
4. 行政の中で看護政策を担うことができる看護職の配置
5. 統括的役割を担う保健師の育成と配置の推進

平成26年9月22日

公益社団法人島根県看護協会  
会長 春 日 順 子

島根県看護連盟  
会長 松 浦 昌 代

# 支部活動

## 松江支部活動報告

松江支部の会員数は8月20日現在で1,941名(男81名、女1,860名)になりました。昨年度から、1施設加わり53施設へ、そして診療所や介護施設からの入会もあり個人会員数も98名となりました。

今年度第1回目の研修では、『元気の出る話～モチベーションを高め、物事を前向きに取り組む生き方』と題し、和想館代表の池田訓之先生による講演をしていただきました。普段の心のあり方や仕事への取り組み方、和の心・感謝の心・ポジティブな考え方を学べ、WLBを図るう



松江支部長 福田 里子

えでも気持ちの切り替えが重要であるということを、参加されている皆さまと共有する事ができました。

昨年度から始めている訪問看護研修は、在宅療養を支えるため、看護職間の相互理解と連携の場となるよう、今年度も同様の企画を進めているところです。研修生を出す施設、そして研修生を受けてくださる訪問看護ステーション、共に業務多忙な中ではありますが、各人が働く職場で看護職の役割を理解し、実践に活せるような研修にしたいと考えております。

## 浜田支部活動報告

浜田支部長 濱田 春美

浜田支部では、平成26年6月14日 定期総会を開催しました。総会後の研修会は「災害支援ナースとして活動してみませんか？」のテーマで講演会を実施しました。

講師は、浜田医療センターから救急看護認定看護師の當田晶子氏を迎え、60名(会員59名・非会員1名)の参加がありました。

講演では、日本看護協会・災害時支援ネットワークシステムの説明や、実際に災害現場での被災者のトリアージについて、事例を元に判断するトレーニングもありました。アンケート結果から災害時の看護についてイメージしやすい研修であったと好評をいただきました。

また、年間を通して常設型「まちの保健室」を毎月実施

しています。月平均30名の方が来られています。病気や症状についての相談が多くそれに沿った日常生活指導を行なっています。体組成計は人気があり、ほぼ全員が測定されます。この日を楽しみに来られる方もおられました。

今後の活動は、浜田市健康フェスティバル・江津市健康まつりの参加、会員の交流事業などを予定しています。地域と連携し健康に関して看護が貢献出来るよう活動していきたいと思います。

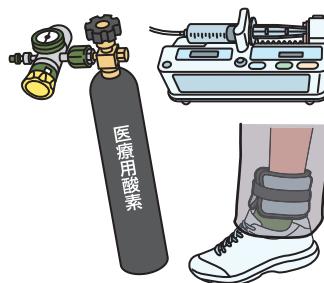


## 医療・看護安全情報

### MRI検査室への磁性体 (金属製品など)の持ち込み

MRI検査室に、磁性体(金属製品など)を持ち込んだ事例が再び報告されています。その多くは、医療関係者が持ち込んだ事例です。

持ち込んだ人	件数
医療関係者	16件
患者	4件



#### <医療関係者が持ち込んだ磁性体>

酸素ボンベ	5件
輸液ポンプまたはシリジングポンプ	2件
アンクルウェイト	2件
ストレッチャーと酸素ボンベ架台	1件
新生児用ベッド	1件
点滴スタンド	1件
モニター	1件
体内留置排液用のドレナージバッグ	1件
髪留め	1件
清掃器材	1件

いずれもガントリに吸着しています。

◆患者が持ち込んだ4件の事例で持ち込まれた磁性体は、磁性アタッチメント構造の義歯、耳孔内に入れたボタン型電池、携帯電話、補聴器です。

# 職能委員会活動

## 看護師職能委員会Ⅰの活動について

看護師職能委員会Ⅰは、職場環境改善の推進、在宅療養を支える、看護実践能力強化の重点事業のもと、事業を計画しました。○准看護師の看護師2年課程通信制への進学支援研修会：8月9日に、看護の動向・最新の看護情報を伝達する内容で研修会を開催し、15名の参加がありました。受講生から進学をイメージできる、実践力のアップに繋がる等の感想がありました。○看護補助者活用の実態調査：チーム医療の推進を図るために、看護補助者の活用が推進されています。そこで、島根県内の看護補助者の配置や業務内容・教育体制・就労環境等の実態調査を行います。○看護師職能Ⅰ研修会：12月7日に、看護をデータ化、



可視化することで自施設の特徴を把握し、よりよい看護実践に生かすことができるという内容で研修会を開催します。日本看護協会理事の松月みどり氏から講演をいただき、松江市立病院の看護局長から実際の取り組み等を発表していただきます。○重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修：診療報酬の改定に伴い正しく評価できるように、衛星中継研修会の支援をします。

上記の事業の活動にぜひご参加いただき、学習の場、意見交換・交流の機会の場にしていただきたいです。そして、現場の意見をお聞かせいただき、課題発見・意見集約等に努めたいと思います。

## 看護師職能委員会Ⅱの活動について

看護師職能委員会Ⅱ（領域Ⅱ：介護・福祉関係施設・在宅等領域）が日本看護協会に設置され4年目を迎えています。この間、島根県では領域Ⅰ（病院領域）と合同の看護師職能委員会として領域Ⅱの活動も行ってきました。本年度からは独立した委員会となり、看護師職能委員会Ⅱとして本格的に活動を展開していく予定です。

今年度の活動の目玉は、平成27年2月28日の看護師職能Ⅱ研修会です。高齢者の緩和ケア・終末期ケアで先駆的な活動を行う青梅慶友病院の桑田美代子氏（看護介護開発室長／老人看護専門看護師）を招聘し、『施設における終末期ケアと看護倫理』と題した講演を企画しています。

委員長 吉岡佐知子

また講演後は、あらゆる場で働く看護職が互いの職場の特性を共有し、現状の問題について意見交換できる機会にしたいと考えています。

超高齢・多死社会を迎える認知症を抱える方も増加していきます。できるだけ長く、住み慣れた地域で、安心して最後まで暮らせるために、領域Ⅱで働く看護職には地域全体を視野に入れた活動が求められています。課題は山積していますが、領域Ⅰとの連携も含め、一つひとつの課題に丁寧に向き合い、皆さまのお力を借りながら更なる活動につなげていきたいと考えています。

## 日本看護協会「助産師出向システム」推進シンポジウム －島根から2病院が出向支援の実際を発表－

日本看護協会主催の標記推進シンポジウムが、平成26年8月2日に東京青山ダイヤモンドホールにて盛大に開催された。「助産師出向支援の実際」として6名のシンポジストが発表され、島根から出向元医療機関の立場で公立邑智病院の日高武秀事務部長、出向先医療機関の立場で松江市立病院の安達良子看護局長が発表され、活発な意見交換がされた。協会ニュース10月号では、「助産師出向システム支援モデル事業」島根の取り組みが紹介されるのでご覧ください。



# 委員会活動

## 会員委員会の活動について

会員委員会は、「会員の確保」及び「会員の福利厚生」等の事業促進を図るための取り組みを行っています。平成25年度末の入会率は47.3%でしたが、入会率を維持していくためには継続会員への働き掛けをすると同時に新規会員の加入促進が課題です。

現状では協会の役割や活動について「よくわからない」「疑問がある」などの意見を持っている方もいると思います。そこで、会員をはじめ非会員看護職の皆様や看護学生を対象にしたパンフレットを作成中です。内容は協会を知ってもらえるよう、協会の役割Q&A、研修内容の詳細

説明、看護職賠償責任保険制度と内容、認定看護師への道、生涯学習の充実などの内容を盛り込んで検討中です。

看護協会の役割や活動がわかりやすく伝わり、支部活動や看護養成機関などで協会PRに活用していただけるようなパンフレットが完成後には是非ご活用下さい。



## 災害看護委員会の取り組みについて

この委員会は、①災害時の看護支援活動の推進を図る②災害看護の質の向上のための研修会を実施する③災害看護支援ナース登録者の確保をする目的に活動しています。

研修会は、“基礎編”と“実務編”を毎年の継続事業として企画し、またフォローアップ研修とも位置づけています。

平成21年3月に作成された「災害支援ナース派遣マニュアル」を、昨年度修正し「災害看護支援マニュアル」としてみなさまに活用していただけたらと思います。

委員長 渡部 明子

災害はいつ起こるかわかりません。平時からの備えが大切です。多くの会員のみなさまが、災害看護の研修を受けられ、災害支援ナースに登録してくださる仲間が増えることを願っています。



## トピックス 大地震想定 災害支援ナース派遣訓練

被災地が出雲市沖合、大規模地震が起きたと想定、日本看護協会と45都道府県看護協会の合同訓練を9月2日～4日の3日間で開催。県医療政策課から災害情報の提供と広域災害情報システム(EMIS)訓練開設の協力のもと、県内の災害拠点病院5施設に災害支援ナースを派遣するための訓練を実施した。

9月2日に「災害レベル3」発生の連絡を受け、日本看護協会に災害支援ナース派遣要請。2日目以降、日本看護協会から各都道府県看護協会に派遣要請、3日目には日本看護協会から被災県協会に派遣人数をまとめて、派遣するまでの手順の流れを確認した。

日本看護協会・都道府県看護協会・災害拠点病院の看護管理者・行政関係機関の皆様方のご支援・ご協力に心より感謝申しあげます。

《災害看護担当理事 德若光代》

活動場所	派遣期間	派遣人数
① 松江市立病院	9月5日～9月18日	432名
② 雲南市立病院	9月5日～9月18日	423名
③ 島根大学医学部附属病院	9月5日～9月18日	363名
④ 島根県立中央病院	9月5日～9月18日	373名
⑤ 大田市立病院	9月5日～9月18日	280名
⑥ 災害拠点病院5施設		延人数 1,871名



災害広域情報の確認



災害対策本部立ち上げ



## 認定看護師の紹介

### 「がん化学療法認定看護師としての抱負」



松江赤十字病院 看護部 がん化学療法認定看護師 山本 香織

このたび、がん化学療法認定看護師資格を取得した山本香織です。

私はこれまで、血液内科病棟に所属し、血液疾患で治療を受ける患者さんや家族と関わってきました。その中で、抗がん剤の副作用と戦いながら、そして生死と向き合いながら、頑張っておられる患者さんと家族の姿を目の当たりにしてきました。

副作用を少しでも軽減し、治療を乗り越えることが出来るようにサポートしていくたい、患者さんや家族の思いを聴きたい、もっと助けになりたいと考えるようになりました。

そのためにも、専門的な知識や技術をもっと学びたいという気持ちが芽生え、『がん化学療法認定看護師』を目指そうと思いました。

認定看護師教育課程に進むには、入学費用や授業料など出費は必須です。子育てをしながらの私にとってこれらの出費は決意を揺るがす要因でした。しかし、看護部長から『島根県がん専門・認定看護師育成事業費補助金』についてご紹介いただき、教育課程への入学を決意することが出来ました。この様に、上司の助言や導き、また県からの支援、そ

してスタッフや子どもたち2人も含め家族の協力や助けを借りながら、教育課程を卒業して認定資格を取得することができて本当に感謝しています。

今現在、私は外来化学療法室で勤務し、看護師5名とアシスタント1名とで活動しています。新病院への移転時にベッド数を増床し、年々外来で治療をうける方が増えてきています。このような状況の中、IVナース制度が導入され、点滴開始までの待ち時間の短縮が可能となりました。抗がん剤は血管外漏出などを起こすと重大な事故につながる可能性が大きい、患者にも精神的苦痛を与えることになるため、私たちIVナースは、緊張感をもって業務を行っています。そして患者がより安全に安心して治療が継続できるように血管アセスメントを含めたカンファレンスで情報の共有をしています。また、外来で化学療法を受けられる患者さんが自宅に戻られてからも安心して生活が送れ、治療が継続できるように支援していく必要があります。外来という限られた時間の中ですが、患者さんの背景や、セルフケア能力を把握し、その力の維持・向上できるような生活支援を考えた看護が提供できるように、スタッフと共同してがん化学療法認定看護師として活動していくたいと思います。

### 「地域に寄り添う緩和ケア」



島根県済生会江津総合病院 緩和ケア認定看護師 津枝 忍

私は病棟勤務をしながら認定看護師として活動しています。資格取得して1~2年はどのように活動していくのか暗中模索の毎日であり、まずは認定の役割や活動を知つもらいたいと、認定仲間と「スマイル

Letter」という認定情報新聞を作成して掲示しました。その成果からかしづつ相談依頼がもらえるようになりました。相談内容としては疼痛コントロールが多く、その他倦怠感や身体的苦痛以外の内容もあります。緩和ケアは身体の苦痛だけではなく、精神的・社会的・自己の存在・生き方への問い合わせなどから生じる苦痛(トータルペイン)を和らげ、日常生活を少しでもその人らしく過ごせるように支えていくものです。そのため、相談に対してはトータルペインの視点で考えられるように対応しています。現在では看護記録の中に、身体的苦痛だけではなく精神面や予後についての対話、家族の情報が増えており、活動の成果として実感しています。

相談以外の活動としては、緩和ケア委員会のメンバーと共に緩和ケアへの周知や提供するケアの向上にむけて、スタッフの研修企画・運営をしています。特にエンゼルケアの研修は毎年実施しており、处置ではなく看護師が行うケアとしてのエンゼルケアが浸透してきたを感じています。委員会では地域に寄り添った活動を目標としていますので、地域の施設や公民館などに向いての研修もしています。地域の施設でも、エンゼルケアの研修をさせていただきました。施設の職員からは「家族が喜んでくれた」「今後も研修を継続していきたい」などの言葉をいただきました。そして今年度からは、患者さまの心理的苦痛が少しでも緩和できるよう、相談窓口を開設しました。

今後も自己研鑽し、その時その一瞬がその人らしく生活できるよう、患者さまやそのご家族さまと一緒に考えながら、地域に寄り添ったよりよい看護が提供できることを大切に考えて活動していきたいと考えています。

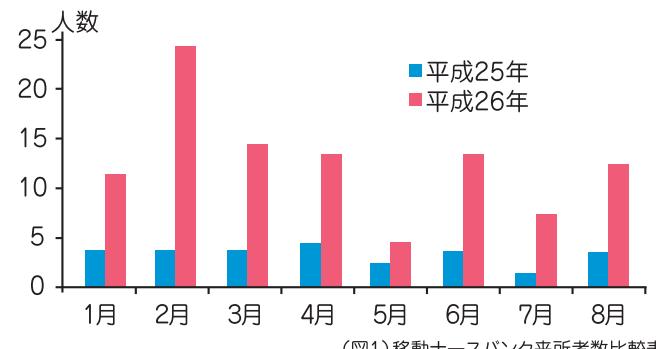


## ハローワークと連携、就業相談会(移動ナースバンク)を開催しています！

平成26年度 就業相談会(移動ナースバンク)実施表

地域	松江	出雲	雲南	大田	江津	浜田	益田	隠岐
会場	ハローワーク 松江	県立中央病院	ジョブ・ステーション 出雲	ハローワーク 雲南	ハローワーク 石見大田	済生会江津 総合病院	ハローワーク 浜田	ハローワーク 益田
時間	14:00~16:00				13:00~16:00			
実施日	10月15日(水) 11月19日(水) 12月17日(水)	10月16日(木) 11月20日(木) 12月18日(木)	10月9日(木) 11月13日(木) 12月11日(木)	10月8日(水) 11月12日(水) 12月10日(水)	10月22日(水) 11月26日(水) 12月24日(水)	10月15日(水) 11月19日(水) 12月17日(水)	10月8日(水) 11月12日(水) 12月10日(水)	10月9日(木) 11月13日(木) 12月11日(木)
								10月8日(水) 12月10日(水)

- ◆平成25年12月から看護職の就業相談員がハローワークで就業相談を行っています
- ◆ハローワーク「松江・雲南・大田・浜田・益田・隠岐の島」「ジョブステーション出雲」の7ヶ所で行います。
- ◆相談は、就職斡旋・復職のための研修・職場の悩み・進路相談等様々な内容に応じます
- ◆ハローワークとの連携(平成26年～)により、相談件数は昨年の約3倍に！(図1)
- ◆“島根県ナースセンター”(島根県看護協会内)では、月～金曜日、直接来所、電話、メール等でさまざまな就業に関する相談を行っています



### 島根県ナースセンターの求人・求職登録について

インターネットからお仕事探し・人材探しの登録ができます。

ナースセンターでの無料職業紹介を、インターネット上に展開したものが「e-ナースセンター」です。  
登録・検索・紹介など、ご利用は**無料**です。



⚠類似の「有料職業紹介サイト」にご注意ください



お仕事探しの新規登録の方はこちらから  
「ユーザーID申請」に行って下さい。

URL → <http://nurse-center.net/nccs/>

中央ナースセンター 日本看護協会 検索

直接ナースセンターにご来所いただくか、  
郵便等での登録票の送付などの方法もあります。



各種お問い合わせは

島根県ナースセンター

☎ 0852-27-8510



平成26年度島根県看護協会・老人福祉施設協議会合同セミナー

## セカンドキャリア看護職の開発と活用のためのセミナーのご案内

“高齢化社会を支えるために看護師としてあなたの資格を生かしませんか”

開催日  
**平成26年  
11月28日(金)**

会場  
**いわみ～る  
浜田市野原町1826番地1**

講演  
**「今の時代を生きるライフプラン」**  
ファイナンシャルプランナー 萬代 幸次 氏

施設見学  
(津田の里・陽恵福祉会)  
松江会場の様子  
参加者3名



日程  
★ 9時20分～10時 受付  
★ 10時～12時 講演・施設紹介・体験発表  
★ 12時～13時 高齢者施設の看護職員との交流会  
★ 13時～16時 施設見学

高齢者施設の紹介、高齢者施設で勤務する看護職員の体験発表があります。  
午後からは希望者の施設見学があります。  
参加費は無料です。

## ナースセンターでは県立大学看護学部と一緒に 「技術研修会」をおこなっています。

8月第1回技術研修会が終了しました。

### 本年度の今後の予定

#### コース1【フィジカルアセスメント】

1日目 平成27年 3月19日(木)

2日目 平成27年 3月20日(金)  
(原則、両日とも参加できる方)

#### コース2【静脈注射】

1日目 平成27年 3月26日(木)

2日目 平成27年 3月27日(金)  
(原則、両日とも参加できる方)

#### 「コース2 静脈注射」の場面



## 島根県UIターンフェア(大阪)に参加しました。

2010年から開催されているフェア。  
過去最高の390人が来場されました。  
島根県ナースセンターのブースにも  
9名来所され、島根県の看護職の就業について説明しました。



### 今後のUIターンフェア開催予定

広島会場

平成26年  
**10月19日(日)10:00～16:00**  
NTTクレドホール  
(広島市中区基町6-78 NTTクレド基町ビル11階)

東京会場

平成26年  
**12月7日(日)13:00～19:00**  
ヒカリエホール  
(東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ9階)



## 「助産師出向」クリニカルラーベルIを目指して!

町立奥出雲病院 助産師 石原 愛弓

自院管理者のご配慮で、江田クリニック産婦人科にて出向(研修)をさせて

貰いました。研修は「マタニティーケア能力の分娩期」を主として貴重な体験や学びがあり、初めは分娩経過についていくことがやっとでした。江田先生やスタッフの皆様方の熱心なご指導を受け、5か月間で42例の分娩取扱に関わることができました。9月からは自院にて、助産診断・ケアの力を高めるように頑張ります。ご指導いただき心から感謝しています。

町立奥出雲病院 看護部長 森長久美子

新規採用後1年間は当院で勤務、2年目を迎える「助産実践能力」を習得してもらう目的で、出向をさせていただきました。出向(研修)を終えて帰ってきた時には、技術面だけではなく、精神面での成長もみられました。江田先生・看護部長他スタッフの皆様にはお手数をかける事ばかりだったと思いますが、短期間の出向で成長させていただき本当にありがとうございました。今後の彼女をさらに成長させることができるとおもっています。



## INFORMATION インフォメーション

### 助産師職能委員会

#### 助産師職能キャリアアップ研修

日 時:平成26年11月1日(土) 10:30~16:30  
東部会場:島根県立中央病院  
講 師:済生会江津総合病院  
産婦人科医師 今村加代子氏  
日 時:平成26年11月29日(土) 10:30~16:30  
西部会場:浜田医療センター

### 学会委員会

#### 看護管理者のための研究倫理に関する研修

日 時:平成26年11月14日(金) 10:00~16:00  
会 場:島根県立大学出雲キャンパス  
講 師:島根県立大学看護学部  
教授 吾郷美奈恵氏・石橋照子氏  
梶谷みゆき氏

### 社会経済福祉委員会

#### 看護職の働きやすい職場づくりの推進研修 ~夜勤交代制勤務に関するガイドラインの周知~

日 時:平成26年11月30日(日) 12:30~16:00  
会 場:看護研修センター  
講 師:日本看護協会 奥村元子氏

## 図書室利用について

- 入室時入口右側の『利用者一覧表』に氏名を記入をする。
- 利用時間 平日 9:30~17:00  
休日 認定研修会開催時のみ
- 借入希望者は事務所に声掛けをしてください。
- 雑誌、資料、学会抄録、論文集は借出できません。

## 支部別・職能別会員数(合計) (平成26年10月10日現在)



## 編集後記

皆さんはどうな秋をお過ごしでしょうか。  
スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…

スポーツといえば、  
全米オープンテニスでの錦織  
圭君に興奮しましたね。  
この秋、何かにトライしてみま  
せんか?

